

滋賀県がん診療連携協議会 議事結果報告書

会 議 名	令和8年度 滋賀県がん診療連携協議会 第1回相談支援部会																																												
開 催 日 時	令和8年7月1日（水）17時30分																																												
開 催 方 法	滋賀県立総合病院 本館4階会議室																																												
出 席 者	【部会員】 <table> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>山内 智香子</td></tr> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>辻 將公</td></tr> <tr><td>滋賀医科大学医学部附属病院</td><td>田中 哲志</td></tr> <tr><td>大津赤十字病院</td><td>琴 順華</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>岡村 理</td></tr> <tr><td>彦根市立病院</td><td>藤井 滋生</td></tr> <tr><td>市立長浜病院</td><td>橋本 祥子</td></tr> <tr><td>高島市民病院</td><td>大塚 初美</td></tr> <tr><td>市立大津市民病院</td><td>杉江 礼子</td></tr> <tr><td>済生会滋賀県病院</td><td>西村 美弥子</td></tr> <tr><td>近江八幡市立総合医療センター</td><td>川尻 富美</td></tr> <tr><td>長浜赤十字病院</td><td>川原 愛加</td></tr> <tr><td>東近江総合医療センター</td><td>宮城 暢子</td></tr> <tr><td>一般社団法人 滋賀県医師会</td><td>森田 豊</td></tr> <tr><td>一般社団法人 滋賀県薬剤師会</td><td>田中 聡美</td></tr> <tr><td>公益社団法人 滋賀県看護協会</td><td>吉岡 千晴</td></tr> <tr><td>一般社団法人 滋賀県歯科衛生士会</td><td>馬場 真佐美</td></tr> <tr><td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td><td>菊井 津多子</td></tr> <tr><td>滋賀県がん患者団体連絡協議会</td><td>奥井 さよ子</td></tr> <tr><td>滋賀県健康医療福祉部</td><td>原田 真衣</td></tr> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>岩田 里織</td></tr> </table> 【事務局】 <table> <tr><td>滋賀県立総合病院</td><td>岩田 里織</td></tr> </table> （敬称略・網掛けの方は今年度より新規）	滋賀県立総合病院	山内 智香子	大津赤十字病院	辻 將公	滋賀医科大学医学部附属病院	田中 哲志	大津赤十字病院	琴 順華	滋賀県立総合病院	岡村 理	彦根市立病院	藤井 滋生	市立長浜病院	橋本 祥子	高島市民病院	大塚 初美	市立大津市民病院	杉江 礼子	済生会滋賀県病院	西村 美弥子	近江八幡市立総合医療センター	川尻 富美	長浜赤十字病院	川原 愛加	東近江総合医療センター	宮城 暢子	一般社団法人 滋賀県医師会	森田 豊	一般社団法人 滋賀県薬剤師会	田中 聡美	公益社団法人 滋賀県看護協会	吉岡 千晴	一般社団法人 滋賀県歯科衛生士会	馬場 真佐美	滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子	滋賀県がん患者団体連絡協議会	奥井 さよ子	滋賀県健康医療福祉部	原田 真衣	滋賀県立総合病院	岩田 里織	滋賀県立総合病院	岩田 里織
滋賀県立総合病院	山内 智香子																																												
大津赤十字病院	辻 將公																																												
滋賀医科大学医学部附属病院	田中 哲志																																												
大津赤十字病院	琴 順華																																												
滋賀県立総合病院	岡村 理																																												
彦根市立病院	藤井 滋生																																												
市立長浜病院	橋本 祥子																																												
高島市民病院	大塚 初美																																												
市立大津市民病院	杉江 礼子																																												
済生会滋賀県病院	西村 美弥子																																												
近江八幡市立総合医療センター	川尻 富美																																												
長浜赤十字病院	川原 愛加																																												
東近江総合医療センター	宮城 暢子																																												
一般社団法人 滋賀県医師会	森田 豊																																												
一般社団法人 滋賀県薬剤師会	田中 聡美																																												
公益社団法人 滋賀県看護協会	吉岡 千晴																																												
一般社団法人 滋賀県歯科衛生士会	馬場 真佐美																																												
滋賀県がん患者団体連絡協議会	菊井 津多子																																												
滋賀県がん患者団体連絡協議会	奥井 さよ子																																												
滋賀県健康医療福祉部	原田 真衣																																												
滋賀県立総合病院	岩田 里織																																												
滋賀県立総合病院	岩田 里織																																												
欠 席 者	<table> <tr><td>市立長浜病院</td><td>田久保 康隆</td></tr> <tr><td>公立甲賀病院</td><td>西村 直也</td></tr> <tr><td>淡海医療センター</td><td>谷 由紀子</td></tr> <tr><td>一般社団法人 滋賀県歯科医師会</td><td>竹村 尚記</td></tr> </table>	市立長浜病院	田久保 康隆	公立甲賀病院	西村 直也	淡海医療センター	谷 由紀子	一般社団法人 滋賀県歯科医師会	竹村 尚記																																				
市立長浜病院	田久保 康隆																																												
公立甲賀病院	西村 直也																																												
淡海医療センター	谷 由紀子																																												
一般社団法人 滋賀県歯科医師会	竹村 尚記																																												
議 事 概 要	【審議事項】 1. 令和8年度相談支援部会の取組みについて 令和8年度の取組みとして、PDCAチェックリストとアクションプランシートを活用していく。 PDCAチェックリストについては、昨年度から継続しPlan（計画）を「がん相談窓口取組み実施状況の充実」、Do（実行）を「各体制の確保、各支援の実施」に設定する。また、アクションプランシートについては、令和6年度から6年間のアクションプランとなっており、昨年度までのアクションプランを継続する。 引き続き、「がん相談後のアンケート」や「がん相談支援センターPDCA実施状況チェックリスト共通項目」を活用し、施設の評価を行っていく。 なお、今年度の相談支援部会は2回開催予定で、開催方法については参加状況を確認しながら柔軟に対応していく。 2. 「滋賀の療養情報」の更新について																																												

次版「第14版」の作成にかかるワーキンググループについて、昨年度のメンバーを主体とし、市立長浜病院・公立甲賀病院をメンバーに加え、都合の悪いメンバーについては個別に対応することで調整を図る。内容については、前版作成時と大きな変更点がないため、メール連絡等により前版をベースに加筆・修正を行って対応する方向で進める。

【報告事項・情報共有事項】

3. 「滋賀の療養情報」の配布方法実践状況確認

前回調査時より3医療機関が改善に取り組み、合計で5項目の改善が見られた。項目毎の実践割合では「医師など医療者への周知」が77%、「がんと診断された患者さんへの配布」が63%、「院内での設置」が82%、「情報として発信」が31%となっており、全体の実践割合は59%であり、前回の53%から6%改善。一方、「情報として発信」は31%に留まり、「市民公開講座等をオンライン（web）開催する場合、最終画面に紹介ページを付加する」、「公共施設等で広く周知するため『滋賀の療養情報』を紹介するチラシを作成する」においては低くなっている。

（意見）「アンケート内容について見直しが必要な項目がある」

アンケート内容について、事務局よりメールにて意見を募り、その結果を踏まえ、「令和3年度 相談支援部会・滋賀の療養情報作成ワーキンググループでの『滋賀の療養情報』配布方法に関する意見・改善案等 まとめ」についても併せて、次年度から内容を見直し、新たなアンケートが実施できるように準備を進めることとした。

4. 令和8年度がん相談支援センター等がん相談窓口の体制、PDCA実施状況チェックリスト

令和8年4月のがん相談窓口の体制について、相談員は計51名となっており、令和8年1月時点より4名減となった。

PDCA実施状況チェックリストについて、他の医療機関の取組みを参考に、少しでも改善していただく。

5. 令和7年度がん相談後アンケート結果

対象13施設中8施設から298件の回答があり、昨年度の241件から57件増加。相談の結果としては、ほとんどが「親切や親身に説明をしてもらった」「相談できる場所や活動を続けて欲しい」等の前向きな内容であったが、一方で、「いつでも気軽に相談できるとありがたい」、「仕事との調整が必要になるのでネット相談があると嬉しい」等今後の課題となる意見もあり。

アンケートについては、アクションプランの指標のひとつでもあり、相談者の生の声を反映するものであるため今後も継続していく。

6. 令和7年度セカンドオピニオン受け入れ紹介状況について

前年度と比較し、受け入れ状況は228件から172件に減少、紹介状況は319件から221件に減少。

受け入れ状況の対象疾患については、後腹膜・腹膜腫瘍が50件、肺がん、乳がんがそれぞれ15件、大腸がんが13件となっている。

7. アピアランスケアに係る体制整備について

厚生労働省より、アピアランスケアに係る「相談支援・情報提供体制」の整備促進について、都道府県がん診療連携拠点病院に対し通知あり。①～⑥項目（①医療従事者による評価、②多職種による情報提供・指導の実施、③アピアランスケア担当者の配置、④アピアランスケア管理者の配置、⑤委員会の開催、⑥医療従事者向けの院内教育の実施）を求められており、すべて要件はクリアできるが、「⑥の医療従事者向けの院内教育の実施」については、11月8日に滋賀県立総合病院にて「がん診療セミナー」を開催し、院外向けにも広報し参加を募る。なお、セミナー後は、懇親会開催を予定している。

8. 令和7年度がん患者サロンアンケート結果について

滋賀県がん患者団体連絡協議会奥井部会員から説明。

サロン別の参加状況については、これまで参加者が多かった施設で減少が見られる一方、少なかった施設で増加する傾向がある。その原因として、相談員による声かけが有効であることが考えられる。また、サロンの前にミニ講座を実施している施設への参加率が高い。サロンの重要性が再確認される一方で、ピアサポーターの養成に関しては、応募者が集まらず高齢化も進んでいることが課題である。病院ごとの広報活動の差異が影響している可能性が指摘された。なお、今年度から予定していた働く世代を対象とした「welcome」については、土曜日の開設が困難なことから、一旦閉設とすることが報告された。

その後、がん患者サロンの実施について、各実施医療機関より活動状況の報告が行われた。

9. 滋賀県がん患者アンケート調査結果報告

滋賀県がん患者団体連絡協議会菊井部会員から説明あり。

6月14日第3回滋賀県がん患者アンケート調査結果報告会を実施した。がん情報の情報発信媒体の周知に関しては、「滋賀の療養情報」については、前回（2022年）調査時よりも大幅に伸びており、院内設置だけでなく、手渡しの効果が表れていると考えられた。一方で、全体で見ると、20%程にとどまっており、今後も継続して周知していく必要がある。

がん相談支援センター/がん患者サロンの利用については、「利用/参加したことがある」人は増えている一方で、がん相談支援センターを「利用したことがある」人は減り、「利用したことがない。知らない」人が増えており、これまで以上に周知が必要である。

がん患者サロンへの参加比率も低く、知らない人も半数近くいることから、参加しやすい内容の検証と工夫、開催についての情報発信が必要である。

10. 第26回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会（2026年5月22日開催）報告について

滋賀県立総合病院岡村部会員から報告あり。

各医療機関に情報提供を依頼したPDCA実施状況チェックリストについて、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会に提出。全国収集の結果がホームページにて掲載されている。

がん相談支援センター相談記入シートV3.0が2027年1月1日より運用開始。シートについては、8～9月頃に完成・公開予定であるため、岡村部会員より、本部会メンバーリングリストにて共有する。現在は滋賀県様式で行っているため、今年度は継続して使用し、次年度から、がん相談支援センター相談記入シートV3.0で運用していく。

がん相談支援センター相談後アンケートについて、今年度は滋賀県様式で実施。情報提供・相談支援部会（全国部会）で作成された利用者アンケートを滋賀県で運用できるよう項目調整し本部会メンバーリングリストで周知、令和9年4月1日よりを利用する。

11. 希少がんの診療情報について

希少がんの各医療機関における診療状況については、近畿ブロックにおいては大阪国際がんセンターが取りまとめを行っている。滋賀県内では滋賀県立総合病院が調整窓口を担い、各医療機関へ治療法に関する回答を依頼し、大阪国際がんセンターへ提出を完了した。

このデータは、希少がん患者の相談症例に対応するための情報提供などに役立てるほか、病院間での情報共有にも活用していく。

（質問）『治験・臨床試験』の実施状況の問い合わせについて

各医療機関の情報に対し問い合わせが必要な場合には、各医療機関において行う。

	12. 滋賀県健康医療福祉部 今年度の取組みについて 滋賀県健康医療福祉部 原田部会員から報告あり。 県がん対策推進条例・県がん対策推進計画に基づく実施事業として、今年度は大きな変更なく実施する。がん対策推進計画の中間評価・報告の今年度は、がん相談支援センター・がん相談窓口の相談件数、サロン相談件数などの評価も加味した上で、今後重点的に取り組む内容を検討する。 (質問)「がん教育スピーカーバンク事業について」 現在の登録は15名であり、小中学校、高等学校、大学に派遣している。小中学校においては、45分という限られた時間であるため文部科学省の動画教材を用いている。一方、高等学校、大学においては、がんサバイバー（患者）が自身の体験談を直接講話している。 13. その他情報提供 ・全国がんセンター協議会資料「がん診療連携拠点病院における”病院を挙げて行うがん相談支援”の実態把握と充実に関する研究」と「調査」について共有した。 ・彦根市立病院「PCU情報用紙」を共有した。診療情報提供書に記載がないことでも情報を得ることができ、導入により受け入れ手続きがスムーズになったとのこと。 ・「リレー・フォー・ライフ2026滋賀医科大学」について、10月10日(土)～11日(日)開催される。昨年度と同様に相談支援部会にてブース出展を予定しており、部会長より部会員に参加協力の要請をした。また、参加者が減っており、各施設において広報での協力についても依頼した。
そ の 他	特になし

以上のとおり報告します。

令和 8年 7月 1日

滋賀県がん診療連携協議会 会長 様

相談支援部会 部会長 山内 智香子